

#GATE

従来のキャンパスゲートは、門が機能や象徴性を単独で担う構成となっていることに違和感を覚えた。そこで本計画では、ゲートを単なる通過点として捉えるのではなく、人々の滞留や交流を誘発する場として再解釈した。門と広場・休憩空間を一体的に構成することで、「通過」と「滞在」が重なり合う空間を創出し、キャンパスの玄関口として新たな居場所を形成することを目指した。

